



北海道養護教員会
たより 第3号
発行 R6.3.15

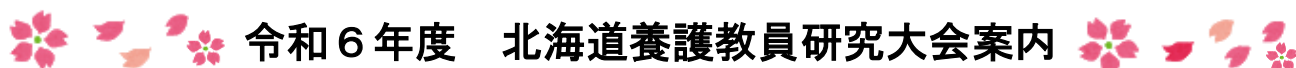


会長 鈴木 美和

局地的な大雪に見舞われることが多かった今年の冬も、3月に入り少しずつ春の兆しを感じる事ができるようになってまいりました。皆様には年度末を控えお忙しい毎日をお過ごしのことと思います。

過日、今年度の事業を締めくくる総会が開催されました。全道各地より32名の評議員、そして研究大会関係者の皆様にお集まりいただきました。本部からは、「研究大会支援金の増額について」と、「会則の改訂について」の二つを提案いたしました。第53回研究大会（渡島檜山大会）については、渡島支部の濱田実行委員長より大会報告がありました。令和6年度実施の第54回研究大会（空知宗谷大会）については、空知支部の濱谷実行委員長より具体的な提案をしていただき、参加の呼びかけがありました。第54回大会は、5年ぶりに分科会も開催されます。仲間の研究を肌で感じることができる貴重な機会です。今年の夏は、岩見沢市で多くの会員の皆様とお会いできることを楽しみにしています。第55回研究大会（上川留萌大会）については、上川支部の吉村事務局長より準備状況についての報告がありました。第56回研究大会については、釧路支部が担当してくださることで承認されました。御審議くださいました評議員の皆様、ありがとうございました。また、空知支部・上川支部の支部長の先生には午前から来ていただき、会計監査を実施していただきました。ありがとうございました。

この1年間、支部長・ブロック長をはじめ会員の皆様の御協力を得て、本部の業務を無事に終えることができました。次年度は本部四役は変わらず、事務局員は10名で担当します。会員の皆様には、さらなる御協力、御支援をお願いいたしまして今年度最後の挨拶といたします。



1 主 管	北海道養護教員会 空知支部 宗谷支部
2 開 催 地	岩見沢市 1日目 「まなみーる」岩見沢市民会館・文化センター 2日目 ホテルサンプラザ、岩見沢平安閣
3 期 日	令和6年8月1日（木）～2日（金）
4 特別講演	『先生だって甘えていいんだよ』 ～あなたに「還る家」はありますか？～ 講師 子ども家庭教育フォーラム代表、教育・心理カウンセラー <small>とみた ふうじや</small> 富田 富士也 氏
5 講 座	第1講座 「養護の先生 出番です…」 ～時代が変わって世の中大変、現象が病気に…増えた発達障害、ストレス関連書、 記憶障害、etc～ 講師 とまこまい脳神経外科・岩見沢脳神経外科・大川原脳神経外科病院・別海町立病院 小児脳神経外科部長、にわとりファミリー理事長 <small>たかはし よしお</small> 高橋 義男 氏 第2講座 「学校で苦戦している子どもたちへの対応」 ～その背景・関連性の理解を通して～ 講師 北翔大学・北翔大学短期大学部 学 長 <small>やまや けいざぶろう</small> 山谷 敬三郎 氏
6 分 科 会	5分科会



令和5年度 北海道養護教員会「総会」の報告



令和6年2月17日(土)に、かでの2.7(北海道立道民活動センター)にて令和5年度総会を開催しました。評議員32名全員の出席を得て、下記の事項について審議・承認されましたことをご報告いたします。

1 議事

- (1) 令和5年度事業・業務報告
- (2) 第53回北海道養護教員研究大会のまとめ
- (3) 研究大会支援金の増額について
- (4) 令和5年度中間決算報告
- (5) 令和5年度会計監査報告
- (6) 令和6年度事業・業務計画案
- (7) 令和6年度支部長役割分担、副会長担当割当て
- (8) 令和6年度予算案
- (9) 第54回北海道養護教員研究大会について
- (10) 第55回北海道養護教員研究大会について
- (11) 第56回北海道養護教員研究大会担当支部について
- (12) 会則の改定について
- (13) 支部提出議題(ありませんでした)
- (14) 次期役員選出 … 4ページに掲載

【第54回研究大会について】

参加申込みはWebでの個人申込みとなります。各自、Web上で参加登録をし、参加費2,500円をお支払いください。支払い方法については、開催要項(4月発行)で御確認ください。申込期限は5月17日(金)です。研究集録代(2,500円)は、支部又はブロックを通じてお支払いください。多くの皆様のお越しをお待ちしています。

【研究大会支援金の増額について】

第2回支部長研修会で、研究大会支援金の増額について提案をさせていただきました。

提案後、多くの賛成のお返事を頂くとともに、「昨今の物価高を考えると増額は妥当だが、今後は一堂に会することにとられない大会運営も必要になってくると思う」「研究大会を無理に元の形に戻すのではなく、半日もしくは1日日程で行うべきだと思う」「オンライン・デジタル・クラウド等を利用して思い切ったスリム化や改革を検討すべきでは」等の貴重な御意見をいただきました。

各支部の御意見をもとに、研究大会支援金を増額すると同時に、研究大会の在り方についても検討していく予定です。令和6年度の第2回支部長研修会の際には、「研究大会を考える会(2024~)」を行い、各支部の御意見を伺い、改善できるものを順次取り入れていきたいと考えております。

ただ、北海道養護教員会が会員の皆様にとってつながりを感じ、確かな学びが得られる場として存在することができるよう、①会同の研究大会を無くすことはしない ②研究集録(冊子版)の発行は止めない ということを総会の議事の中で確認させていただきました。

今後とも各支部の貴重な御意見をいただきながら、会運営に努めていきたいと思っております。

2 連絡事項

- (1) 令和6年度会員名簿等の作成について
- (2) 令和6年度会費納入依頼
- (3) 学校保健会会報「保健室シリーズ」執筆順番について
- (4) 入会のお誘い

【令和6年度会員名簿の作成について】

各支部長様へ「今年度の名簿データ」と「会員名簿等作成の手順」を送らせていただきました。

訂正後の名簿は、4月19日(金)までに事務局庶務係の名簿担当者にE-mailにて報告をお願いします。

【令和6年度会費の納入について】

令和5年度は、研究大会をはじめ、支部長研修会や総会等の会議を会同で行うことができました。コロナ禍では会費を1,000円としておりましたが、令和6年度からは2,000円に戻ります。各支部又はブロックごとに会員分をまとめてゆうちょ口座に送金し、振込完了のFAXを送ってください。納入期限は7月31日となっておりますので、よろしくお祈りいたします。

令和5年度 全国学校保健・安全研究大会 参加報告

副会長 坂本 沙織

10月26・27日に兵庫県神戸市において全国学校保健・安全研究大会が開催され、1日目は記念講演、2日目は課題別研究協議会が行われました。

記念講演は「ネット・ゲーム依存の成り立ちと対応」を演題に、神戸大学大学院医学研究科デジタル精神医学部門特命教授 曾良一郎氏が講演されました。人は生活する上で色々な人や物に「依存」して生きていることから、「依存症」とは日常生活で困る「依存」の延長と捉えてしまいがちであるが、精神疾患である「依存症」は自らコントロールできないということ、また、家族にとってもネット・ゲームの「過剰使用」ではなく「依存症」というところの病であると認識することが治療の基盤となるとの説明がありました。ネット・ゲーム依存に発達障害を伴っているケースは少なくないこと、睡眠障害、デジタル眼精疲労、摂食障害のリスクが高まること、不登校やひきこもり・家族への暴力・課金や盗みなどの問題行動が併存するケースが少なくないことから、学校現場が対応に苦慮している状況は今後も深刻化すると考えられるが、久里浜医療センターが中心となって「ゲーム依存相談対応マニュアル」が作成されたので、教育現場でもぜひ活用して欲しい、とのことでした。

(<https://www.ncasa-japan.jp/pdf/document45.pdf>)

第3課題「心の健康」では、「子供の自殺予防のための留意点と学校内外の連携 自殺の背景調査報告書を活かす」を題に、社会福祉法人別府発達医療センター大分療育センター所長 清田晃生氏の講義がありました。子供の自殺予防については、メンタルヘルスに関する基礎知識に基づき適切なアセスメントをする重要性の他、関係者は子供の援助希求能力を高めることを意識することが大切で、援助を求める力が生きる力になることを学んでほしい、と結びました。

第70回北海道学校保健・安全研究大会 札幌大会 参加報告

本部会計 本間 香子

11月26日に札幌市のホテルノースシティにおいて、標記の大会が、「生涯を通じて、心豊かにたくましく北の大地を生きる子どもの育成を目指して」を主題に開催されました。開会式に引き続き、学校保健功労者表彰授与式では、北海道の学校保健にご尽力くださった学校医30名・学校歯科医28名・学校薬剤師13名・教職員3名の方々が受賞されました。本会から、小笠原麻実子先生と萬徳雅美先生、岡本紀久子先生が受賞され、檀上にて小笠原先生と萬徳先生が表彰盾を授与されました。

基調講演は「コロナ禍と子どものこころ」を演題に、国立成育医療研究センターこころの診療部、コロナ×子ども本部の小児専門医・子どものこころ専門医の山口有紗氏がお話されました。コロナ禍により子どものウェルビーイングが脅かされたが、子ども時代の体験が将来へどのような影響を及ぼすのか科学的な視点を踏まえ、子どもたちへのアンケートや様々な調査をもとに分析され、興味深い内容の話が展開されました。最後に自傷行為の対応のポイントとして「受けとめ、力に光をあて、できることを一緒に悩む」という先生の言葉が改めて心に響いた90分間でした。

午後からは、次の3つの部会別研究協議が行われました。それぞれ2校から提言が行われ、活発に研究協議が進められました。

第1部会【学校経営と組織活動】○市立札幌豊明高等支援学校 ○市立札幌藻岩高等学校

第2部会【保健管理・保健教育、安全管理・安全教育】○札幌市立宮の森小学校 ○札幌市立札幌苗緑小学校

第3部会【現代的健康課題】○札幌市立発寒中学校 ○札幌市立北陽小学校



第 56 回北海道学校保健学会 参加報告



事務局員 池上 佳那

10月14日に第56回北海道学校保健学会に参加しました。内容は「子どもの権利条約」の認知度からみた人権教育の在り方に関する研究」「教職員が求める新任養護教諭の資質能力に関する研究」「食育経験の観点からみた食事マナーについての研究」「教員の心肺蘇生法習得に関する状況報告」「教職員のアナフィラキシー対応の現状に関する研究」「小児期からの継続的な農薬への暴露が引き起こす白色脂肪細胞の生理応答変化」という6つの一般演題から構成され、北海道教育大学の教員、北翔大学教育文化学部教育学科の学生による発表がありました。

「教職員が求める新任養護教諭の資質能力に関する研究」は、北海道内の公立学校の教員を対象に質問紙調査で実施されていました。「保健室の状況把握」「救急処置対応の技術」「救急処置における連絡・調整」について期待している回答が8割を超えた結果となり、養護教諭を目指す学生が卒業までに必ず身に付けなければならない資質であると考察されていました。新任養護教諭に求められている資質は、勤務年数に関わらず養護教諭として最低限必要とされている力です。さらに北海道・札幌市では、それぞれ策定されている養護教諭教員育成指標があり、常に資質能力の向上を図り続けることが大切であると考えます。私は目の前の子どもたちにとって、また一緒に働く同僚にとって求められている役割を果たせるような力を持っているのか、自分自身を振り返り身が引き締まる機会となりました。

学校保健というテーマは多岐にわたりますが、全て子どもたちの健康の保持増進のために必要な事柄です。研究発表や質疑応答の時間を通して、大学の教員や学生と教育現場だからこそ気づける視点を交流できることで、学びが深まる学会となりました。

令和5年度 役員

会 長	鈴木 美和	札幌市立手稲中学校	(札幌小中)
副 会 長	栗野 洋美	北海道札幌南高等学校	(札幌高校)
	濱田 宏恵	北斗市立大野中学校	(渡 島)
	舟崎奈保子	別海町立中春別小学校	(根 室)
	坂本 沙織	登別市立幌別東小学校	(胆 振)
事務局長	倉橋 幸希	札幌市立真駒内桜山小学校	(札幌小中)
会 計	本間 香子	市立札幌啓北商業高等学校	(札幌高校)
会計監査	佐々木舞子	美唄市立中央小学校	(空 知)
	竹元 彩	中富良野町立宇文小学校	(上 川)
事務局員	須川 恵里	札幌新陽高等学校	(札幌高校)
	森脇 陽和	札幌市立桑園小学校	(札幌小中)
	池上 佳那	札幌市立白楊幼稚園	(札幌小中)
	島田 希望	札幌市立明園小学校	(札幌小中)
	梶 孝枝	札幌市立川北小学校	(札幌小中)
	小川 美和	札幌市立もみじ台中学校	(札幌小中)
	後藤奈都美	札幌市立みどり小学校	(札幌小中)
	井上 奏恵	札幌市立有明小学校	(札幌小中)
	加納由紀子	札幌市立澄川中学校	(札幌小中)
	遠藤あさみ	札幌市立八軒小学校	(札幌小中)
	水谷佳代子	札幌市立新陵中学校	(札幌小中)

令和6年度 役員

会 長	鈴木 美和	札幌市立札幌北中学校	(札幌小中)
副 会 長	栗野 洋美	北海道札幌南高等学校	(札幌高校)
	濱谷 優子	栗山町立継立小学校	(空 知)
	三浦 千晶	江差町立江差北小学校	(檜 山)
	柴田真優美	江別市立江別第一小学校	(石 狩)
事務局長	倉橋 幸希	札幌市立真駒内桜山小学校	(札幌小中)
会 計	本間 香子	市立札幌啓北商業高等学校	(札幌高校)
会計監査	阿部 康香	小平町立小平小学校	(留 萌)
	國井 彩湖	標茶町立標茶中学校	(釧 路)
事務局員	須川 恵里	札幌新陽高等学校	(札幌高校)
	前谷菜津希	札幌市立幌西小学校	(札幌小中)
	佐々木美洋	札幌市立北九条小学校	(札幌小中)
	福家 直子	札幌市立札幌中学校	(札幌小中)
	渡辺 智子	札幌市立東白石中学校	(札幌小中)
	林 晶子	札幌市立上野幌中学校	(札幌小中)
	若狭智恵美	札幌市立羊丘小学校	(札幌小中)
	川部有美子	札幌市立北野中学校	(札幌小中)
	木村 瑞恵	札幌市立登寒南小学校	(札幌小中)
	佐藤 綾子	札幌市立前田中央小学校	(札幌小中)